

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： ナノテク高機能ファイバー連携・融合拠点

代表者名： 小宮山 淳

所属機関名： 信州大学

コメント

信州大学は数少ない繊維系学部を有する大学であり、高機能繊維の研究拠点構想として評価された。制限付採択による取り組みにより、「ファイバー工学」を旗印に目的志向とし、海外動向調査を実施した上で、企業との連携ルール、運営体制を整備した計画となっている。研究対象を6課題に再編し、ファイバー、繊維に特化した課題に絞り込まれている。拠点を学内特区とすることも含め、運営体制の強化も進んでいる。協働機関の数は多いが、テーマの特質上許容できるし、それぞれが対等の参加を予定しており、コミットメントも明確である。

拠点化構想において、ナノファイバー研究拠点としての特色をより明確に打ち出すことにより、実施期間を終了したのちも、大学が継続的に基盤的研究や人材育成を果たしていけるよう、より具体的なビジョンをもつことが期待される。多数の機関が参画する拠点であり、重要な知識が集積、創造、活用されるためにはコミットメントのあり方や知財の取り扱いについて、さらなる取り組みが求められる。開発された技術が導入される最終製品やサービスを提供するような企業とも協働していくなど、将来の想定されるニーズの取り込みが重要である。これらの点についても留意の上、適切に資金配分を行い、拠点を運営していただきたい。